

造船造機統計調査結果（平成17年6月分）の概要

1. 造船調査

(1) 集計工場数

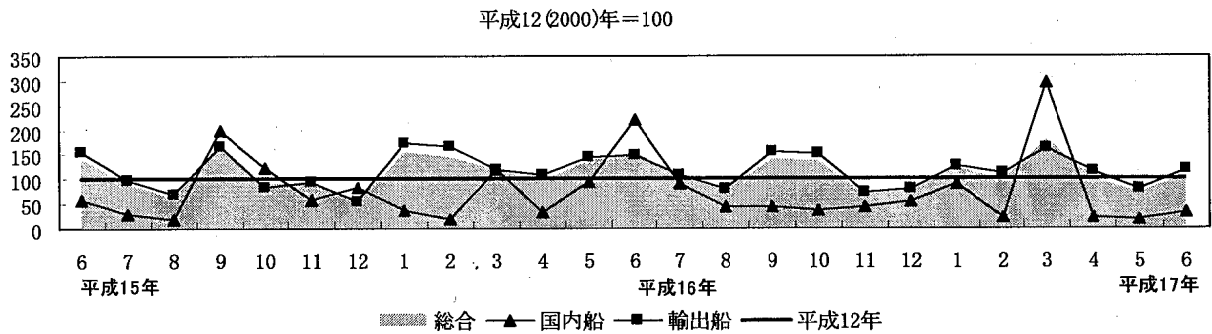
平成17年6月分の集計工場数は、鋼船については、559工場であった。
強化プラスチック（木）船については、67工場であった。

(2) 鋼船建造実績

平成17年6月分の鋼船建造実績は、起工38隻、105万G/T、進水44隻、96万7千G/T、しゅん工49隻、119万7千G/T、しゅん工船価1,043億円、生産指数※108.0であり、生産指数の前年同月比は、31.1%減であった。

このうち国内船は、しゅん工13隻、4千G/T、しゅん工船価42億円、生産指数31.6であり、生産指数の前年同月比は、85.6%減であった。また、輸出船は、しゅん工36隻、119万3千G/T、しゅん工船価1,002億円、生産指数120.1であり、生産指数の前年同月比は、18.3%減であった。

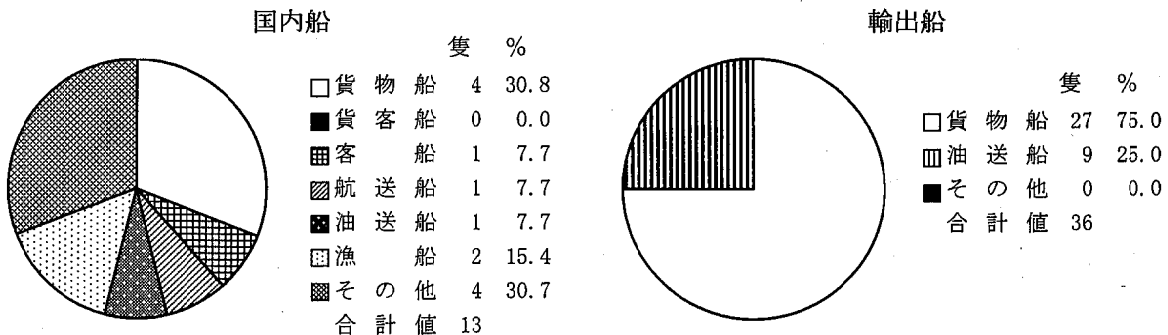
①生産指数の推移



※生産指数（月次）は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成12年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。

②しゅん工船の用途別隻数（鋼船）

しゅん工船のうち国内船は13隻、輸出船は36隻で、用途別（船種）では、次のとおりであった。



2. 造機調査

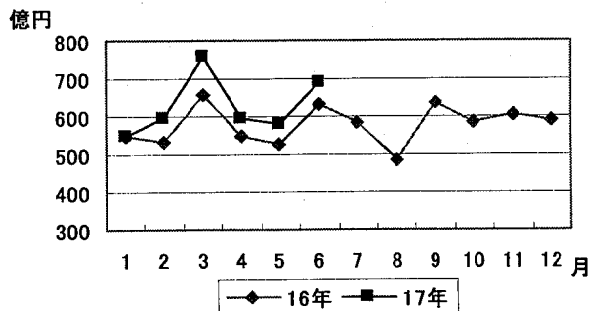
(1) 集計工場数

平成17年6月分の集計工場数は、479工場であった。

(2) 船用機関等の製造高及び月末在庫高・修繕高

船用機関等の製造高は、690億円であり、月末在庫高は、152億円であった。また、修繕高は40億円であった。

①造機製造高の推移



②造機月末在庫高の推移

